

令和6年3月30日（土）に、文京キャンパスにおいて、令和5年度定時評議員会が開催され、「令和6年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。
令和6年度の事業計画及び予算の概要は、次の通りです。

Ⅰ. 事業計画

◆令和6年度事業計画策定について

はじめに

予算編成に当たっては、18歳以下人口の減少加速や入学定員管理の厳格化等により私立大学を取り巻く環境がますます厳しい状況にある中で、法人並びにその設置する学校の設置目的及び使命を達成し、持続可能な安定した財政基盤と時代の要請に応える教学体制を構築するため、費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額（令和5年度）のゼロシーリングを原則としています。なお、中長期計画で策定された基本戦略に基づいた事業を優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「令和6年度事業概要」に示すとおりです。

令和6年度事業方針について（理事長）

1. 法人運営の基本方針

コロナ感染症が今年5月から5類に移行したことにより、教育活動への影響は収まりつつあるものの、エネルギー価格など輸入関連品目を中心とした物価高騰、急速な少子化に伴う人口減少による将来の国力衰退の危機、更には日本周辺の有事の可能性など、国内は数多くの困難に見舞われ、私たちの社会・経済活動の不確実性が高まっています。

このような難問の解決には「人間の知恵」が最も必要とされ、教育現場はこの知恵を育む源泉であり、特に大学は高等教育機関として社会から強く期待されています。

今年6月16日に政府が閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2023」（骨太方針2023）では、少子化対策の抜本強化への決意が表明されるとともに、経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進については、ガバナンスとの一体的改革が求められています。

本学は2021年度より来るべき2030年に向けて「学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】」を策定し、各設置校が時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、SDGs（国連が提唱した持続可能な開発のための目標）活動を通して世界で活躍する人間の備えるべき「国際協力・社会貢献・人間尊重」の精神を身につけたグローバル人材（「拓殖人材」）の更なる育成など、それぞれに策定した基本戦略に基づき、各年度、その諸事業を順次展開しています。

令和6（2024）年度の予算については、今後の社会・経済活動における不確実性の高まりを想定しつつ、

- （1）令和4（2022）年2月末に勃発した、ロシアによるウクライナ侵略による世界のエネルギー・食糧などの物資の不足や、円安による物価高騰が引き続き予想される経済的に不安定な状況を考慮する。
- （2）コロナ禍により停滞を余儀なくされた本学の「ブランディング活動（学生募集活動や広報活動も含む）」の強化推進を図る。
- （3）設置校拓殖大学と北海道短期大学の教育事業の一層の連携強化により、北海道短期大学の持続可能な運営体制の整備強化を図る。

以上の年次事業を展開するためには、何よりも法人そのものの存在基盤となっている「学園共同体」、すなわち学生・生徒・教職員ならびに評議員・卒業生との信頼の確保と連携を強化し、本学の明るい未来の構築と建学の理念（令和4年改正の学則第1条及び第2条に基づく）の遂行に向け、全力で取り組まなければ

なりません。

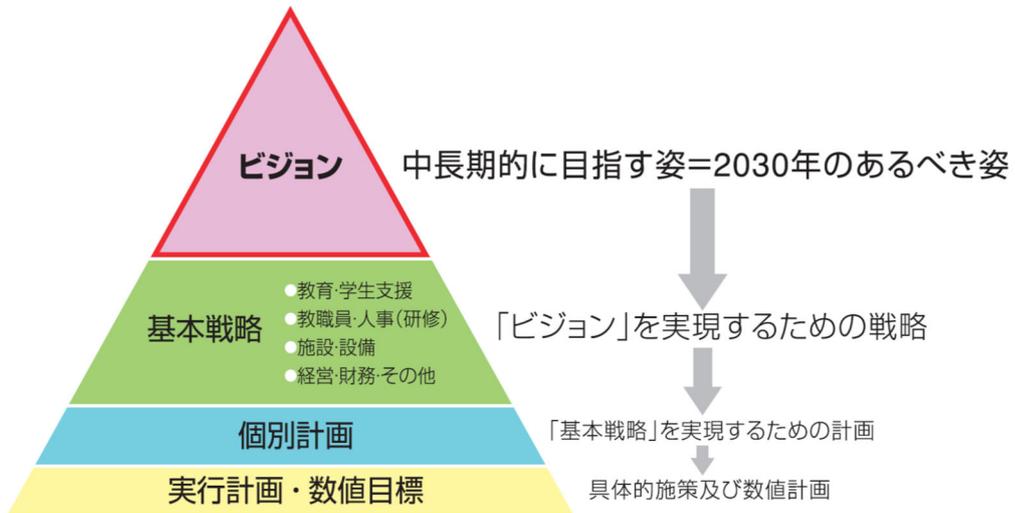
2. 学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】

令和2年に認証評価基準を厳格化する「学校教育法の一部改正」と共に「私立学校法の一部改正」が行われ、私立大学における教育の質の向上を図るため中期的な計画の策定義務化や役員の責任の明確化によるガバナンスが強化されることとなり、同時に各学校法人の施策の詳細部分については、私立大学の関係団体等が「私立大学版ガバナンス・コード」を行動規範として策定し、私立大学の主体性を重んじ自律的なガバナンスの確保が求められています。

本学は、来るべき2030年に向けて「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】」が策定されたことにより、各設置校（拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校）が時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる国際化への充実を図り、「ミッション」・「ビジョン」に基づく「教育・学生支援」、「教職員・人事（研修）」、「施設・設備」、「経営・財務」の基本戦略に基づき諸事業を展開します。また、本学が加盟する日本私立大学連盟が策定した「私立大学ガバナンス・コード」に準拠し、本学の自律性に基づくガバナンスの強化と健全性に努めます。

構成

ビジョンを基に基本戦略や個別計画等を策定



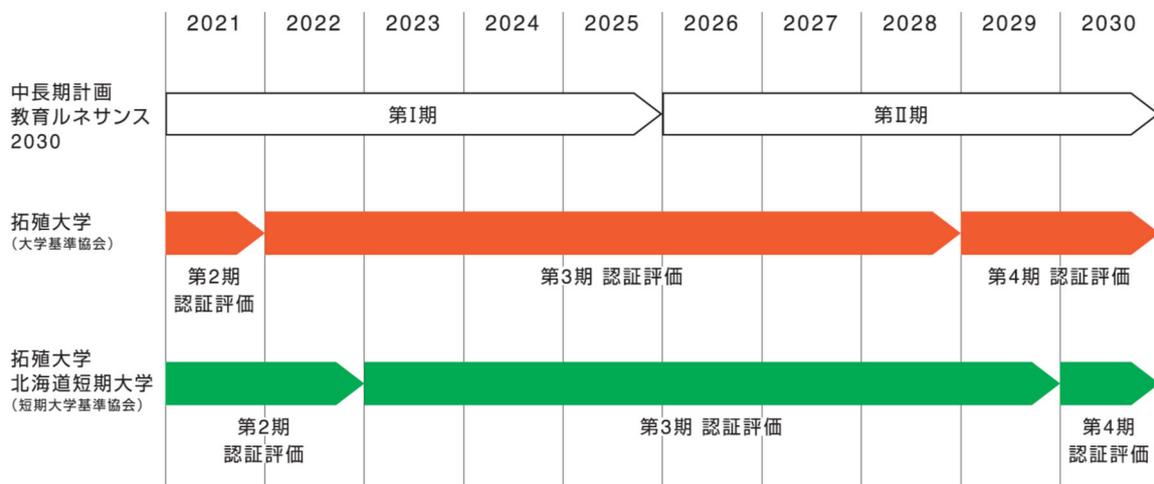
期間

2030年に向けて第I期・第II期と分けて展開

第I期：2021(令和3)年4月～2026(令和8)年3月

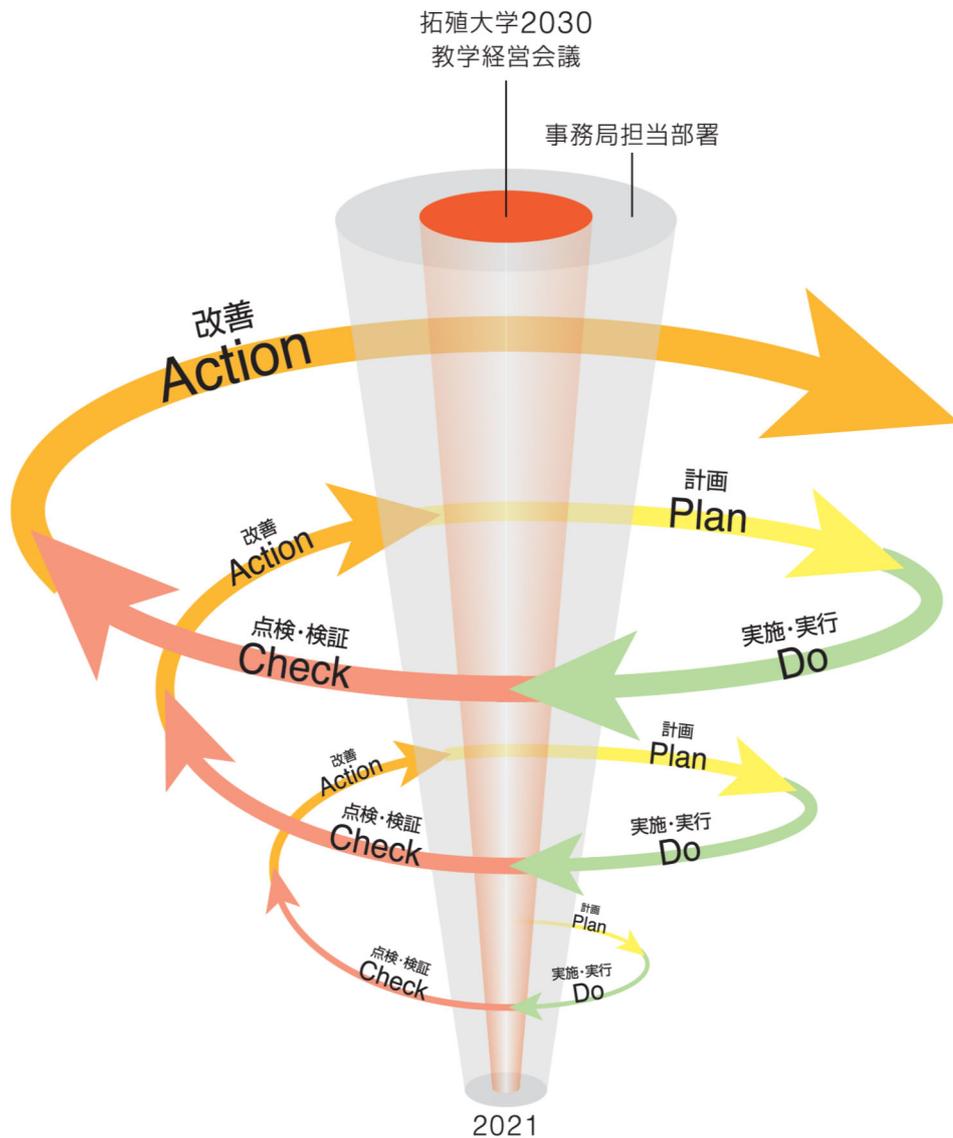
第II期：2026(令和8)年4月～2031(令和13)年3月

※5年目の2025(令和7)年に計画を見直します。



PDCAサイクルにより中長期計画運営を実施

中長期計画は定期的に進捗状況をチェックするとともに、PDCAサイクルによる進行管理を行います。また大学基準協会による認証評価結果や社会状況の変化等により適宜見直しを実施します。



毎年度の予算編成と事業計画は、中長期計画を基に作成します

3. 令和6年度予算編成にあたって

基本的考え方

令和6(2024)年度は、中長期計画の「ビジョン」(=2030年のあるべき姿)実現に向け策定した「基本戦略」・「個別計画」・「実行計画・数値目標」、「アクションプラン」を考慮し、事業計画を立案すること。

- (1) 「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】」の進捗状況と達成状況を検証し、各設置校(拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校)は、時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる充実を図るとともに、今まで以上の「財政基盤の強化」に取り組む必要がある。
- (2) 事業計画策定にあたっては、本法人の現在保有している限られた資産(人的財産・歴史的財産・土地・建物)を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- (3) 予算編成にあたっては、文部科学省による在籍学生数の抑制強化による影響等を充分勘案し、学生募集力の強化、教育の質の向上のための教学組織の改革に取り組みつつ、財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定する。特に大学・短期大学における18歳人口の減少、高等学校における15歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努める。
- (4) 公益財団法人「大学基準協会」の第三期認証評価(令和3年度)を踏まえ、PDCAサイクルに基づく内部質保証機能を推進し、北海道短期大学においては一般財団法人「大学・短期大学基準協会」の認証評価を踏まえ事業計画を立案する。
- (5) 「学園共同体」として、各設置校間(拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学・拓殖大学第一高等学校)の相互理解や連携強化により、力の結集を図る。
- (6) 事務局各部長は、所属各課の令和4年度の決算結果及び令和5年9月までの事業評価を総括し、令和6(2024)年度事業計画(予算)策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
 - ① 新規事業については、中長期計画に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請する。
 - ② 継続事業(経常的支出)については、原則として令和5年度当初予算額のゼロシーリングとする。

なお、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努める。

◆令和6年度事業概要

物件費について、継続事業（経常的支出）は、令和5年度当初予算額を上限に既存事業を見直し、費用対効果の妥当性・適切性など多岐にわたり検証しました。その結果、継続事業（経常的支出）は前年度に対し+0.52%となりました。

学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】の「ビジョン」に基づき実施する令和6年度の主な新規事業等は以下のとおりです。

◎拓殖大学教育ルネサンス2030

1. 拓殖大学

(1) 教育・学生支援

- ①教育ルネサンス2030プロジェクト（英語力の強化・向上、実践的な職業教育の充実等）
- ②講義要項システム及び教員情報システム改修
- ③高等教育の修学支援新制度による授業料等減免
- ④文京 C館アクティブラーニング教室整備
- ⑤文京 E館一般教室及びC館1階PC教室マルチメディア設備更新
- ⑥文京 D館1階PC教室マルチメディア設備及び一般教室AV機器更新
- ⑦文京 B館学生食堂及びE館カフェ業務委託
- ⑧八王子 遠隔授業及び教室AV機器保守等常駐サポート要員配置
- ⑨八王子 工学部棟エレクトロニクス実験室IIオーディオ機器更新
- ⑩八王子 D館Foster2カードリーダー増設及びサーバ機器更新
- ⑪八王子 工学部棟実験室精密万能材料試験機更新
- ⑫証明書自動発行機システム更新
- ⑬学生証再発行システム更新
- ⑭授業用ソフトウェア（統計・統計解析・日本語講座）整備
- ⑮留学生メディカルアシスタンスサービス導入
- ⑯学生教育研究災害保険通学中等傷害危険担保特約加入

◇政経学部新学科設置に伴う経費

- ①八王子 E館空調機・受水槽増圧ポンプ・内装等改修工事
- ②八王子 E館教室什器及びAV機器整備
- ③八王子 E館情報ネットワーク及びPC教室整備
- ④八王子 E館教室内線電話増設による電話交換機更新工事
- ⑤八王子 E館教員研究室及び教員控え室整備
- ⑥八王子 E館学生ホール、学務課分室、会議室、印刷室等整備

◇オレンジプロジェクト

- ①【T-L a s h】学生支援活動
- ②【N e x t S t e p】キャリア支援
- ③【L i n k B u n k y o】文京キャンパス地域連携・防災の推進
- ④【CONTIGO】八王子国際キャンパス地域連携・防災の推進
- ⑤【T-G I R L】女子学生満足度向上
- ⑥スポーツオープンキャンパス、社会人基礎力育成グランプリ実施他、全グループ共通経費

(2) 施設・設備

◇文京キャンパス

- ①自動火災報知設備更新工事
- ②空調用自動制御設備更新工事
- ③D館 エレベーター更新工事
- ④図書館 入退館ゲート及び盗難等防止システム更新
- ⑤入退出管理装置、空調設備用自動制御機器等保全部品交換

◇八王子国際キャンパス

- ①第一体育館 アリーナ照明器具交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ②八王子留学生寮 照明器具交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ③管理研究棟 冷温水発生機更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ④管理研究棟 空調用ポンプ交換工事
- ⑤A館・D館・恩賜記念館 変電設備等修繕工事
- ⑥A館 空調用ファンコイルユニット薬品洗浄
- ⑦学生交流会館 消火設備修繕工事他
- ⑧総合グラウンド 夜間照明交換工事
- ⑨図書館 入退館ゲート及び盗難等防止システム更新
- ⑩第一・第二学生食堂 厨房機器更新
- ⑪第一体育寮 厨房食器洗浄機更新等
- ⑫第二体育寮 厨房休憩室修繕工事等

◇ICT設備

- ①学生用Microsoft 365同期サーバ更新
- ②教研用・図書館用貸出ノートPC更新
- ③学内Wi-Fiアクセスポイント増設
- ④教研用PC環境復元・イメージ管理ソフトウェア更新
- ⑤事務ユーザ情報管理サーバ更新
- ⑥事務ネットワーク無線LAN導入
- ⑦事務用オンラインストレージ導入
- ⑧事務用LANリモート接続環境システム整備

(3) 教職員・人事（研修）・経営・財務・その他

- ①大学公式ホームページ改修
- ②メディアとの連携及び情報発信力の強化を目的とした「メディア向け大学説明会」の開催
- ③保護者向けリーフレット・動画制作による学生募集強化
- ④事務職員中途採用情報掲載サービスの利用
- ⑤教授会等議事録の電子化
- ⑥学内Wi-Fiシステム技術サポート導入
- ⑦事務システム関連ヘルプデスク業務委託
- ⑧経営経理研究所附属フランチャイズビジネス研究センターシンポジウム開催、学術研究の推進

2. 北海道短期大学

- ①高等教育の修学支援新制度による授業料等減免
- ②実習棟 屋根修繕工事

- ③実験・実習農場 ビニールハウス灌水用大型ポンプ更新
- ④馴化室 エアコン設置
- ⑤保健室 エアコン設置
- ⑥事務管理システム（教務及び経理）更新
- ⑦労務管理業務委託

3. 第一高等学校

- ①校舎棟 3階PC教室 PC等更新
- ②クラブハウス棟 相撲道場改修工事
- ③教員用タブレット端末更新
- ④情報管理室ネットワーク機器更新
- ⑤クラウド型勤怠管理システム導入
- ⑥照明制御装置保全部品交換
- ⑦体育館 教員用シャワーユニット配管修繕工事
- ⑧電子図書館システムデジタルアーカイブ資料作成
- ⑨緊急地震速報受信端末更新